



# epoch

エポック No125号

～千代田区生涯学習推進委員会議だより～

令和5(2023)年3月発行



## 第14期第3回 概要報告

令和4年11月29日、第3回生涯学習推進委員会議が開催されました。冒頭、前回会議での質問事項3点の確認および事務局からの説明を踏まえ、意見交換が行われました。次に『今期テーマについて』に先立ち、栗栖副会長よりテーマ設定に関する提案がありました。今回の会議にあたり、委員の皆様事前にアンケートの協力をお願いし、結果報告を行いました。以下、概要をお伝えいたします。

### 1. 質問事項の説明および意見交換

#### (1)ちよだ生涯学習カレッジ設立の経緯について

- 第9期千代田区生涯学習推進委員会議 学びを紡ぐ新たな仕組み（意見書）・「生涯学習大学」の創設
- 第10期千代田区生涯学習推進委員会議（仮称）生涯学習大学の創設について（報告書）
  - ・「生涯学習大学」イメージの具体化

- (目的) 学びで人と地域をつなぎ、グローバルとローカル、社会と個人の交流の場をめざし、**学びを地域に還元し、社会貢献に積極的な人材**をサポート。
- (コース) 2年制「学びと地域のコーディネーター養成コース」「千代田まちマイスターコース」開設、その後、地域デザインコース（1年制）に一元化。定員30名
- (対象) 18歳以上（当初20歳以上）・区在住・在勤・在学・1年間（当初2年間）継続して学ぶことができ、学習成果を地域活動やボランティアなどで実践する意欲のある方。
- (内容) 授業は1年制で18回（当初2年36回）生涯学習やボランティアの現場見学や体験など多様な方法。地域での活動(実践)、学び合いを通じた大人同士の関係・場づくり。
- (学生数※卒業数) 第1期 26名、第2期 17名、第3期 27名、第4期 15名 第5期 21名

課題 ◆満たされない定員充足率 ◆卒業後の人材を活かす仕組み

#### 【令和4年度からの変更点と今後について】

- ◇九段生涯学習館の指定管理者選定にあわせた館業務への編入
  - ⇒運営事業者への委託期間を単年度から5年間に移行、長期の視点で安定的な事業運営環境を確保。
- ◇カリキュラムの企画・運営への卒業生団体の参画
  - ⇒卒業生団体を組織化し、実践的な地域力の企画・運営への参画を進める。

#### ～意見交換の内容～

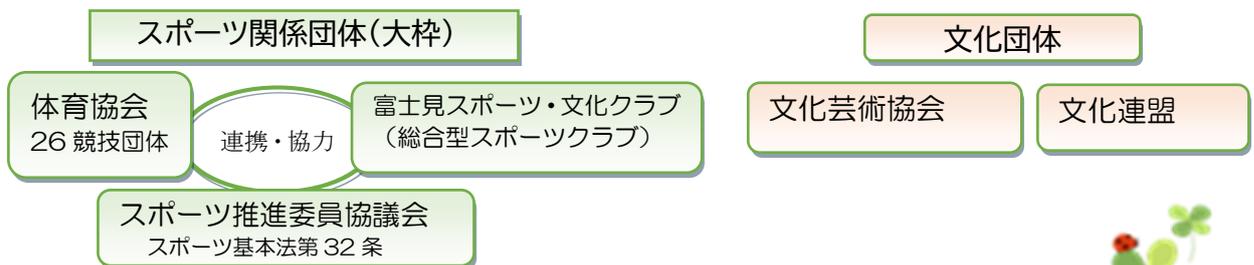
○委員 ◆事務局

- 設立当初のターゲット、ペルソナは、将来の解像度が高くなければ定員割れの課題が続くのでは。
- 5～60代のリタイア後の人生をどうするか、地域貢献したい人が多くなり、結果としてターゲットとなった。参加し学習し、自主活動・ボランティア活動を通し、最後は地域に対してリーダーシップをとっていきたい方を対象として設立された経緯がある。
- 自分自身のエンパワメントのために参加する人が多いのではないかと。卒業後に区とつながる、指導者になるなど募集段階からある程度の縛りがないと難しいのではないかと。
- 主体者が区なのか事業者なのかわかりにくい。
- ◆事業としての実施主体は区である。

(次頁へ続きます)

- 設立目的にある「地域」とは？「ちよカレをやる」といっても、その後の行先、道筋はどうか。
- ◆在勤・在学者に転勤などの変化は致し方ないが、千代田区と関わりのある人を増やし将来の活性化につなげていくのがちよカレの目的でもある。
- 第4期はコロナ禍によりアウトプットができなくなった面があるが、新しい視点、新しい学び方、新しいアウトプットですばらしい資源、人、まちおこしにつながり、驚いたし新鮮だった。今後どう整備していくか、仕組みを整え、動くように確認していく仕組みが必要ではないか。
- 千代田区生涯学習のリーディング的な九段生涯学習館の在り方、ちよカレの位置づけ、構造的にもう一回考え、作りなおす必要性を感じる。
- 包括的な学びの場を尊重しながらも、実践的なエッジの効いたニーズに合ったプログラムも含んでいくとよいのではないか。
- ちよカレは千代田のコミュニティのエンパワメントにつながる重要な教育機関。カリキュラムと人事、発信力と誠意、チェック機関が大切。区民、在住在勤者に対応したカリキュラム、卒業生に付加価値をつけて出していく。評議委員会をもつ生涯学習大学もある。

(2) 生涯学習関係機関・団体の全体像について説明



～意見交換の内容～ ○委員 ◆事務局

- 地域コミュニティを作る意味ではよい場所。もう少し上手く活用できないか。
- 富士見スポーツ・文化クラブはモデルケースとなるのでは、
- ◆スポーツ団体と地域とのかかわりとして、中学校とスポーツセンターでスポーツ開放を実施。
- いろいろな場所でバラバラに開催している気がする。高齢者が行きやすい近隣地域の場所は生涯学習的であり、体育館等と一体化し広げてはどうか。
- 体育協会のニュースポーツ等では各町会で講習のリクエストがあれば出張している。コミュニティや場所を生かした取り組みはスポーツ推進委員協議会で実施。
- ◆コミュニティスクール委員会を立ち上げている昌平小、千代田小は学校拠点として地域の子どもや一般を対象にイベントや講習会を開催。

(3) 区が考える生涯学習の在り方について

**「ちよだみらいプロジェクト」 H27⇒R6 の計画**  
 ㊸区民が自主的に学習活動に取り組み、また、スポーツに親しめる環境づくりを進めます

---

**「現状と課題」**  
 学びを通して交流する機会・地域間ネットワークの強化  
 運動不足による子どもの体力低下、心の問題

---

**「めざすべき10年後の姿」**  
 多様な学習活動の機会を得て交流を深め、生涯にわたって学びを深め、成果を活かすことができる  
 スポーツ・運動を通じた交流機会の促進

---

**「実現のための主な取組み」**

- ①生涯学習大学の創設
- ②新スポーツセンター整備
- ③講座・講習会の充実
- ④人材育成・派遣制度の充実
- ④区立図書館サービスの充実

**28 区民が自主的に学習活動に取り組み、また、スポーツに親しめる環境づくりを進めます**

誰もが生涯を通じて多様な学習・スポーツ活動を行うことができるよう、仕組みづくりと人材育成を進めます。

**現状と課題**

- 本区には在勤者が多いものの、区民との交流が活発とは言い難い。また、近年は区内に転入・在学する区民も増えたことから、そうした区内外の人々や区外在住期間の異なる人々が、「学び」を通じて交流する機会が求められている。
- 区民等による生涯学習や文化活動、スポーツ活動は各地域で盛んに展開されているものの、地域間のネットワークの強化が課題であり、また生涯学習に関わっている区民が一方で、その関わりが持続しない区民も増加している。
- 運動不足による子どもの体力低下、生涯学習の機会、子どもと成人共に「心の問題」も課題となっている。

**課題解決の方向性**

- 区内外の人々や区外在住期間の異なる人々が、生涯学習活動の機会を得るための仕組みづくりを進め、生涯学習へのこれからの関わりが異なる区民も巻き込んでいく。
- 「スポーツがはやく、豊かにならないうち」から「スポーツがはやく、豊かにならないうち」を「強ちよカレ」を推進し、スポーツを通じて誰もが生涯学習の機会を得、すべての区民がスポーツに関わり、

**めざすべき10年後の姿**

- 区民一人ひとりが、多様な学習活動の機会を得て交流を深め、生涯にわたって学びを深めることができ、その成果を活かすことができるよう生涯学習や文化活動、スポーツ活動が盛んに行われている。
- 2030年までに100人以上の区民が生涯学習や文化活動、スポーツ活動に関わり、その成果を活かすことができるよう、生涯学習や文化活動、スポーツ活動が盛んに行われている。

**10年後の姿を実現するための主な取組み**

取組	2023年度	2024年度	2025年度
生涯学習大学の創設	100人	150人	200人
新スポーツセンターの整備	100人	150人	200人
講座・講習会の充実	100人	150人	200人
人材育成・派遣制度の充実	100人	150人	200人
区立図書館サービスの充実	100人	150人	200人

**地域間の連携の強化に関する取組**

取組	2023年度	2024年度	2025年度
生涯学習大学の創設	100人	150人	200人
新スポーツセンターの整備	100人	150人	200人
講座・講習会の充実	100人	150人	200人
人材育成・派遣制度の充実	100人	150人	200人
区立図書館サービスの充実	100人	150人	200人

## 2.「今期のテーマ」 決定に向けた意見交換

- 栗栖副会長より生涯学習の多様なテーマがある中、一番議論すべきテーマは何か。未来を含めて考える、例えば大人をベースに考えるか、子どもをベースとするのか。千代田区生涯学習推進委員会議、第1期からの提言テーマを振り返り、決定前に確認すべき視点が提示されました。

○生涯学習推進委員会議は「区民の学習意欲にこたえ得る地域の学習環境づくりのために区に対して提言をする役割」を有する。

○ちよだみらいプロジェクトの進捗と評価、社会情勢の変化、学び続けることが欠かせなくなる社会。長期的視野への理解を参考としながら区民としての視点に立ち、提言テーマを考える必要がある。

- 【各委員が考える今期のテーマ】アンケート結果について事務局から報告がありました。

### 共生社会／家庭・学校・地域連携／意識啓発に関すること

- ・高齢者や障害者も、健常者と一緒に学べる場所づくり
- ・幅広い年齢層の区民が学びを通じて暮らしが豊かになるようなテーマ
- ・子ども・家庭・地域が一体となって伸びる、持続可能な生涯学習の在り方

### 現状と課題／生涯学習を通したまちづくりに関すること

- ・「各種生涯学習施策の現状と、昨今の生涯学習動向を踏まえた新たな姿の検討」
- ・生涯学習の円滑な推進のために必要な事を考える
- ・「千代田区 DX 社会の実装に備えたりスキリング
- ・1)What is「生涯学習」
- ・2)Who offers「生涯学習」
- ・3)Whom「生涯学習」is for
- ・4)When ,Where & How to do「生涯学習」



### ちよだ生涯学習カレッジ／人材育成／学習成果を活かした地域づくりに関すること

- ・ちよだ生涯学習カレッジの卒業生、活躍の場、今後の在り方について
- ・拡張と九段生涯学習館の強化
- ・学びと活動の在り方(第13期報告を踏まえて)
- ・充実と活用(カリキュラムの適正化と拡充、受講者の拡大、修了者の活用等)

### 部活動の地域移行に関すること

- ・部活動のアウトソーシング
- ・千代田区立(中)学校部活動の地域移行について

### 文化活動に関すること

- ・九段・神保町・麴町地区を中心とする文化サークル活動の場「九段生涯学習館」。神田・秋葉原等地区文化活動組織と連携した交流。千代田・五城目・孺恋村3都市文化交流、合同作品展等の開催。
- ・温故知新。千代田区民として歴史を学び、誇りを持って広がりのある世界に発信、羽ばたく機会を。

### 《その他、自由意見》

- ・区政、この分野の種々の状況、事情を把握し担当する生涯学習・スポーツ課から提示するのが適当。
- ・部活動の地域移行は2年を費やすテーマになり得ない。
- ・人材不足、家庭事情から外部人材活用の議論とし、生涯学習全般の提言と両方を扱ってはどうか。
- ・九段生涯学習館にリスキリング・リカレントに関わってほしい。
- ・子供や大人、企業人材、サークル等横のつながり、自由な意見交換の方策。

～～次回会議でテーマ決定の予定です。～～





## リレー随筆



### 「68歳の新入学生」

永松 誠

「私、また学校に行くことにしたわ。」

仕事一筋、高校の英語教員として働き続けた私の母。そんな母が定年を迎え、生きがいを失くしてしまったのではないかと心配していた私は、母の突然の告白を「また教員として働くことになったんだな」と思い、嬉しく感じていました。

しかし、これは私の勘違いでした。母が行くことになった学校は、児童文学のカルチャースクール。教師ではなく、生徒として入学するのだと聞いたときは、ビックリして腰を抜かしそうになりました。こうして、68歳の新入学生が誕生しました。

学校に通い始めた母は、毎晩遅くまで宿題に取り組み始めました。「宿題って大変なのね」と言いつつも、母の表情はどこか楽しそう。どんな物語を書いているのかと聞いてみると、「それは内緒」と嬉しそうにニヤリ。やっぱり楽しそう。たとえ何歳になっても、新たな学びは、人を若返らせるのだと感じました。

ちなみに、今は体調を崩して「休学」しています。卒業がなく、自由に休んだり、また勉強し直したりできるのも、この学校の良いところかもしれません。

### 水彩画サークル「パレット10」と私

阿部 俊裕

80歳を前に気力と体力の衰えを自覚して6月で建築設備の設計と監理の仕事を終える事とし、これからはもっと自分の時間を大切に過ごして行きたいと願っています。その1つが水彩画サークル「パレット10」です。

そのサークルは11年前に九段生涯学習館で行われた千代田区主催の体験学習「水彩画講習」に参加し、講習最終日に講師の熱心な勧めで10人で発足した区民自主サークルです。現在は発足当時のメンバー5名と併せ10名で活動を続けています。毎月2回、土曜日の午後から九段生涯学習館内で講習を受けています。

春と秋には月1回屋外でスケッチも行います。3人の講師が毎月交代で担当し親切・丁寧な指導を行ってくれます。その日の講習で制作した1人1人の作品について講評と仕上げに向けてのアドバイスもあり、毎回有意義で楽しい時間を過ごしています。6月の「ちよだ文化連盟展」と11月の「千代田区文化芸術の秋フェスティバル作品展」に全員で出品し参加しています。10月には私達で「パレット10作品展」を企画・開催して家族、友人達等多くの人に見てもらう事を励みに頑張っています。私はこれからも皆と一緒に好きな絵を描く時間を大切にしていきたいと思います。



#### 【編集後記】

第14期第3回目のエポックをお届けします。永松委員、阿部委員にはリレー随筆をご執筆いただき心より感謝いたします。令和4年度が終わります。令和5年度、次回エポックも、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 【編集／発行】

千代田区 地域振興部 生涯学習・スポーツ課 〒102-8688 千代田区九段南 1-2-1

TEL：03-5211-3632 / FAX：03-3264-1466 / Mail：shogaigakushuu@city.chiyoda.lg.jp